

経営健全化方針に基づく取組み状況 (令和5年度)

○法人名：一般財団法人 速日の峰振興事業団

○経営健全化方針を策定した理由

平成29年度時点において、経常損益が3年連続赤字となったため、経営健全化の取組が必要であると判断し、策定したもの。

○経常損益の状況 (千円)

項目	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	令和5年度 (目標年度)
経常損益	△7,626	△4,913	△4,340	△3,902	△1,820	1,554	2,030

○主な取組み状況 (令和6年3月31日現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・YOUTUBEやINSTAGRAMなどのSNSを積極的に利用して施設のPRに取り組んだほか、小学生宿泊キャンプを4年ぶりに再開するなどした結果、入園者数は前年比500人減少したが、経常収益は2,406千円増加した。
- ・財団職員自らの施設補修作業、小学生宿泊キャンプ等のイベント収支の管理徹底を図るなど、常にコストを意識した取組を継続し修繕料、委託料、宣伝広告費等を節減した。
- ・経営健全化の取組みにより前年度比476千円の経営改善となり、7年連続の改善（H29前年度比1,744千円、H30は2,713千円、R1は573千円、R2は437千円、R3は2,082千円、R4は3,374千円、R5は476千円の改善）となった。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・平成30年8月に「第1回第三セクター等経営改善検討会議」を開催し、経営評価、検証を行った。
- ・平成30年11月には、市職員と外部専門家で現地視察・法人職員との検討会を実施し、平成31年2月開催の「第2回第三セクター経営改善検討会議」では、外部専門家からの意見を交えての経営評価、検証を行った。
- ・前年度と同様に令和4年6月、令和5年3月に開催された法人の理事会に市職員が理事として出席し、予算、決算の審査を行った。
- ・市所管課と法人との間で経営改善に関する検討会議を昨年度5回開催し、経営状況や事業計画等について検証した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(千円)

	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
資産総額	52,163	46,881	41,330	37,392	37,048	37,164	40,406
(うち現金預金)	10,158	11,590	9,774	10,152	8,019	9,885	12,084
(うち売上債権)	4	3	4	5	56	62	42
(うち棚卸資産)	685	733	960	635	579	567	763
(負債総額)	5,091	4,722	3,510	3,474	4,949	3,511	4,724
(うち当該地方公共団 体からの借入金)	0	0	0	0	0	0	0
純資産総額	47,072	42,159	37,820	33,918	32,098	33,652	35,682

(損益計算書から)

(千円)

	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
経常収益	36,665	36,988	36,791	24,250	27,201	33,168	35,575
経常費用	44,291	41,901	41,130	28,152	29,021	31,614	33,545
経常損益	△7,626	△4,913	△4,340	△3,902	△1,820	1,554	2,030
経常外損益	0	0	0	0	0	0	0
当期純損益	△7,626	△4,913	△4,340	△3,902	△1,820	1,554	2,030